



『未来への架け橋』

() 小学校 (4) 年 () 組
名前

学習ガイド (小学校4年生 国語)

《学習の内容》

1日目 声に出して読んでみよう。

- (1) 教科書の表紙うらの「水平線」を連に気をつけて10回音読してみよう。
- (2) 教科書2～5ページの「目次」を読んで、一年間の見通しをもとう。どのような学習内容なのか、予想してみよう。
- (3) 教科書6～9ページの「国語の学習の進め方」を読んで、1年間で学習する『★言葉の力』を確かめ、1年間の見通しを持とう。

2日目 新しい漢字の練習をしよう

- (1) 教科書161ページの「付」から「臣」を3年生まで使っていた漢字のノートに3～5回ずつ書いてみよう。

3日目 グループにまとめて整理しよう

- (1) 教科書12・13ページを読んで、13ページの枠に見出しを書いてみよう。
- (2) グループでまとめて整理すると、どのようないいことがあるだろう？また、どんなときに役立つだろう？ノートに書いてみよう。

4日目 漢字の復習をしよう

- (1) 教科書15ページの「3年生で習った漢字」をノートや教科書に書きましょう。165ページに答えがあるので、確認して間ちがえたところは5回以上やり直しをしよう。

5日目 想像したことを音読で表そう①

- (1) 24・25ページを読んで、「言葉の力」に書いてある『★想像したことを音読で表す』ことをノートに視写しましょう。
視写とは、そのまま書きうつすことです。
- (2) 「こわれた千の楽器」を読んで想像したことを音読で表してみよう。

6日目 想像したことを音読で表そう①

(1) 物語の中には、どんな楽器が出てきましたか。ノートに書きましょう。

7日目 想像したことを音読で表そう②

(1) 物語の中で、楽器たちの様子や気持ちは、どのように変わっていったのかな。ノートに書きましょう。

8日目 新しい漢字の練習をしよう③

(1) 教科書161ページの「種」から162ページ「関」を3年生まで使っていた漢字のノートに3～5回ずつ書いてみよう。

9日目 新しい漢字を練習しよう

(1) 教科書162ページの「辞」から「治」を3～5回ずつ書いてみよう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

- (1) 音読等はできる範囲で聞いていただき、励ましてあげてください。
- (2) 漢字の学習では、子どもたちの日常会話ではあまり使い慣れていない熟語も掲載されています。家庭に国語辞典があれば調べるように促すことも有効です。また、国語辞典が手元にない場合は、意味を一緒に考えたり教えてあげたりしてください。言葉の意味を知ることによって、理解が深まり定着につながります。

学習ガイド (小学校4年生 算数)

★はじめに★

表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

4・5ページ「学習の進め方」を読みましょう。

学級のみんなで、学習をスタートさせることができるように、これまでの算数の学習の進め方をたしかめておこう。

- (1) 表紙の絵をみて、気がついた事をノートに書きましょう。また、絵の中から直角を探してみましょう。
- (2) 14・15ページをみて、分度器について調べ、分かったことや気づいたことをノートにまとめましょう。(教科書の最後のページにある分度器を切り取って使っても良いです。)
- (3) 17ページの⑥をみて、三角定規の角の大きさを調べましょう。
- (4) 18・19ページを見て三角定規を2枚使ってできる角の大きさについて調べ、ノートにまとめましょう。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

4年生の算数の学習は「角とその大きさ」から始まります。分度器について予習をさせて下さい。分度器がない場合は教科書の巻末についている分度器を切り取らせて使わせて下さい。

ガイドのポイント

- (1) 算数科の学習に期待や興味をもたせるのがねらいです。登場人物が何を話しているのか、何をしているのか等、表紙を見ながら親子で一緒に想像をしながら話をして下さい。ご兄弟がいる場合は他の学年の表紙と比べてみるのも良いです。
- (2) 分度器を使って、角度を測る学習です。細かい使い方は授業で指導します。目盛りや書いてある数字などに着目させたり、身の回りの物（イラストやキャラクターなど）の角の大きさを測らせたりして下さい。
- (3) 三角定規がない場合は、教科書の図を使って角度を調べさせて下さい。(4)でも使いますので、できれば厚紙等を使って三角定規と同じ形をお子さんと一緒に作って下さい。
- (4) 2つの角の和について調べたり、重ねて差を求めたりさせて、ノートに書かせて下さい。19ページの③のように問題を出したり、さくらさんの台詞にあるように三角定規を二組つかってできる角について調べさせたりするのも良いです。

※ 子ども達は経験したことのない状況でストレスを抱えています。間違えたり、できなかったりしても、叱ることなく、温かい雰囲気の中で学習に取り組ませて頂きますよう、よろしくをお願いします。また、できたときには、しっかりとほめてあげてください。今後の自信につながります。

※ 算数の教科書にはQRコードが印刷されています。スマホ等で利用可能ですので、ご活用下さい。

学習ガイド（小学校4年生 社会科）

★はじめに★

教科書の表紙をめくって、もくじを読んでみましょう。

2・3ページ「3年生で学んだこと」4・5ページ「4年生で学ぶこと」を読み、その中から、写真を選んで4年生で学びたいことをノートに書いてみましょう。

- (1) 「日本地図を広げて」(教科書3・4年㊦P130～P135)をもとに、地図帳で確かめながら、教科書の都道府県カードに都道府県の名前を書き込もう。
 - ① 47都道府県の場所と名前を確認して教科書に書き込みましょう。
 - ② いろいろな都道府県の名所や特産品を調べて、これまで使っていた社会科ノートにまとめてみましょう。
 - ③ 47都道府県の位置と名前を覚えてみましょう。

(2)「地図のやくそく(2)」(地図帳 P11~P12)を読んで、3年生の学習を思い出し、地図記号について確かめよう。

- ①地図帳の P11~P12 を読み、「トライ！」にちょうせんしてみましょう。
- ②地図帳の P35~P36 を見て、福岡県の地図の中には、どのような地図記号が活用されているか調べ、これまで使っていた社会科ノートにまとめてみましょう。
- ③自分の家の周りの様子をお家の方と確かめたり思い出したりして、これまで使っていた社会科ノートに、自分だけの新宮町地図を作ってみましょう。そのさい、地図記号や地図の方位のきまり(上が北など)もいかしましょう。

《保護者による関わり方のポイント》

- (1)「日本地図を広げて」の学習では、行ったことのある都道府県や毎日のニュースで紹介された都道府県の位置や名称について日本地図から探すなど、お子さんと一緒に楽しみながら、都道府県を調べられるよう声かけをお願いします。
- (2) 特産品と都道府県の特徴などを関連させながら、「どうしてこれが特産品になったのかな。」などと考えるように促してあげてください。
- (3) 白地図を活用して、都道府県の名称を書き込み、一緒に覚えるなどの学習活動も考えられます。また、都道府県の覚え方について、地図帳 P115 を参考にするように促してあげてください。
- (4) 地図記号調べでは、一緒に地図帳 P35~P36 を見て、その場所についての知識や見聞きしたことなどをお子さんに伝え、興味や関心を引き出してあげてください。
- (5) 自分だけの新宮町地図作りでは、これまでの生活経験を思い出させたり、お子さんが気づいていないけれども実はある施設などについてのアドバイスをしあげたりしてみてください。屋内の調べ活動で大丈夫です。不要不急の外出を控えるとともに、お子さん一人で屋外に調べに行かせるのはやめましょう。

学習ガイド (小学校4年生 理科)

★はじめに★

表紙には、どのようなイラストや写真がありますか？

表紙をめくってみよう。この写真や言葉から、どんなことにきづくかな？

2・3ページ「目次」「理科の学び方」「話し合いのしかた」を読みましょう。

4・5ページ「教科書の使い方」を読みましょう。

学級のみんなで、学習をスタートさせることができるように、これまでの理科の学び方を確かめておこう。

(1) 教科書6・7ページの写真を見たり、これまで見てみたことを思い出したりしながら、春の始まりを感じられるものを書いてみましょう。

(2) 教科書8~11ページを読んで、天気と気温のかかわりについて調べましょう。

- ① 8ページと9ページの写真の違いを見つけ、晴れの日の昼とくもりの日の昼と、それぞれを比べてみよう。
- ② 教科書11ページの「観察」の仕方を読んで、同じ日の午前10時から午後3時ま

での1時間ごとの天気と気温を、テレビや新聞、インターネットなどの天気予報を使って調べて表に記録しましょう。

(家にある温度計を使うときは、家の人と使い方を確かめて正しく使いましょう。)

③晴れの日、くもりの日、雨の日と、ちがう天気の時と同じように調べましょう。

(3) 教科書12～14ページを読んで、(1)で調べた結果から気づいたことをノートにまとめましょう。

① 1日の気温の変化は、天気によってどのようにちがうか、自分なりに考えて書きましょう。

たとえば・・・○晴れの日、雨の日よりも気温の変化が大きい。

○天気はちがっても、午前より午後の方が気温の高い日が多い。

○教科書12ページの「折れ線グラフの表し方や読み方」を読んで、自分で調べた結果とくらべてみるのもいいです。

《保護者のみなさまへ ★関わり方のポイント★》

○4年生の理科学習では、自然の事物・現象どうしを関係づけたり自然の事物・現象と既習内容や生活経験と関係づけたりして、根拠のある予想や仮説をたてて考えるという問題解決力を育むことをねらいとしています。

(1) テレビや新聞、インターネットなどの天気予報から、最高気温や最低気温について調べ、1日の中で気温がどのように変化するのか、生活経験から予想を立てて表に記録できるように声かけをお願いします。

(2) ご家庭の温度計などを使って調べるときは、教科書210ページを参考に、正しい使い方で安全に調べられるように支援をお願いいたします。

※デジタルの温度計は、窓際に温度計を置くことで温度変化を調べることができます。